

2011(平成23年)

広報 びらとり

2
No.602

はじめてのスキー、楽しいね！



初心者スキー教室（日高町）

今月号は…

- 第5次平取町総合計画 後期5か年実施計画を答申
- 平成21年度 一般会計決算報告
- 町の取り組み
- 町のひろば
- 平成23年 平取町成人式
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

第5次 平取町総合計画後期



5 年実施計画を答申

平成 18 年度からスタートした、町政運営の指針である第 5 次平取町総合計画は、計画期間 10 年の折り返しの年度を迎えることとなりました。

23 年度からの後期 5 年計画は、町民代表の 30 名からなる平取町総合計画審議会（会長 藤岡光男氏）で慎重に協議が行われ、この度、町長に答申されましたので、その概要等についてお知らせします。

総合計画とは

この計画は、情報公開と町民の町政運営への参加による協働のもとに、町づくり事業を各分野として年次ごとに策定するものです。

第 5 次となる現在の計画は、「一人ひとりがまちづくりの主役です。輝くびらとり未来^{あす}につなごう」を基本テーマとして、町民が描く将来像を実現するための理念と、まちづくりの基本的な方向性を示す「基本構想」を計画全体の柱としています。また、基本構想で策定された将来像を実現するための必要な施策を体系化し、具体的な事業を列挙したものを「実施計画」としています。

前期計画の特徴

国の経済対策交付金等による事業が実施されたことにより、当初の計画が前倒しとなったことなど、計画実行においては変動がありました。概ね計画どおり推移した内容となっています。

また、基本計画において目標としていた町民主権による自治を確立するための「自治基本条例」が制定され、平成 20 年度から施行となりました。

後期計画の特徴

当初、計画された後期 5 年計画（展望計画）との整合性とこれまでの実績等を精査するうえで、住民ニーズを的確に捉え、福祉及び生活環境の向上と産業の振興等を一層図る内容となっています。

まちづくりの目標と展望

まちづくりの目標は、「町民が幸せを感じ、健康的であり、文化的であり、豊かで安心できる輝かしい未来がある町」にあります。

厳しい財政環境の中、少子高齢化・過疎化の進行など、多くの行政課題を抱えています。ただ今、考えを凝らし、将来を担う町民に夢と希望をもたらす、まちづくりが望まれています。

平取町総合計画後期 5 年 審議経過

平成 22 年	5 月 25 日	第 1 回総合計画審議会
	8 月 30 日	第 1 回 教育・保健福祉部会 産業・まちづくり部会
23 年	12 月 9 日	第 2 回 教育・保健福祉部会 産業・まちづくり部会
	12 月 20 日	第 2 回総合計画審議会
23 年	1 月 12 日	第 3 回総合計画審議会
	1 月 14 日	審議会からの答申



総合計画審議会 (1 月 12 日)

第5次総合振興計画

後期5か年における

主な事業計画

❖教育・文化の推進

- 学校校舎・屋体改修整備
- 体育館改修整備
- 図書資料の充実
- 給食用備品整備
- スクールバス整備
- IT教育用パソコン整備
- 芸術鑑賞会等の開催
- 公民館維持改修
- イオル整備の推進
- アイヌ伝承活動の推進
- アイヌ文化普及啓発
- 博物館特別展・各種講座の開催
- アイヌ文化国際交流の推進
- 埋蔵文化財調査
- 文化的景観の啓発

❖保健・医療・介護・福祉の充実

- 子育て医療費還元
- 食育計画の実践
- グループホーム整備
- ケアホーム整備支援
- かつら園補修支援
- ウタリ住宅整備支援
- デザイナービスの充実



❖産業の振興

- 中山間平取南地区整備
- 水稲共同利用施設整備
- 実践農場整備
- 新規就農者対策の推進
- 牛肉消流対策と食育支援
- 町有林造成・民有林活性化
- 美しい森林づくり基盤整備
- エゾシカ・害獣対策の推進
- 地場産業振興融資
- 商工業振興対策の推進
- 住宅改修支援と景気対策
- 幌尻山荘改修
- 企業誘致の推進
- びらとり温泉改築

❖生活環境の向上

- 町道の整備
- 橋梁整備計画の策定
- 路線バス維持費支援
- 地域公共交通再編検討
- 地デジ移行に伴う施設整備
- 治山施設整備
- みどり豊かな環境整備推進
- ニセウエコランド整備
- 公営住宅整備
- 定住分譲宅地整備
- 若者地域体験移住の促進
- 生活雑排水処理施設整備
- 浄化槽整備促進
- ダム水源地域の振興
- 新エネルギー導入推進

❖町民・行政活動の充実

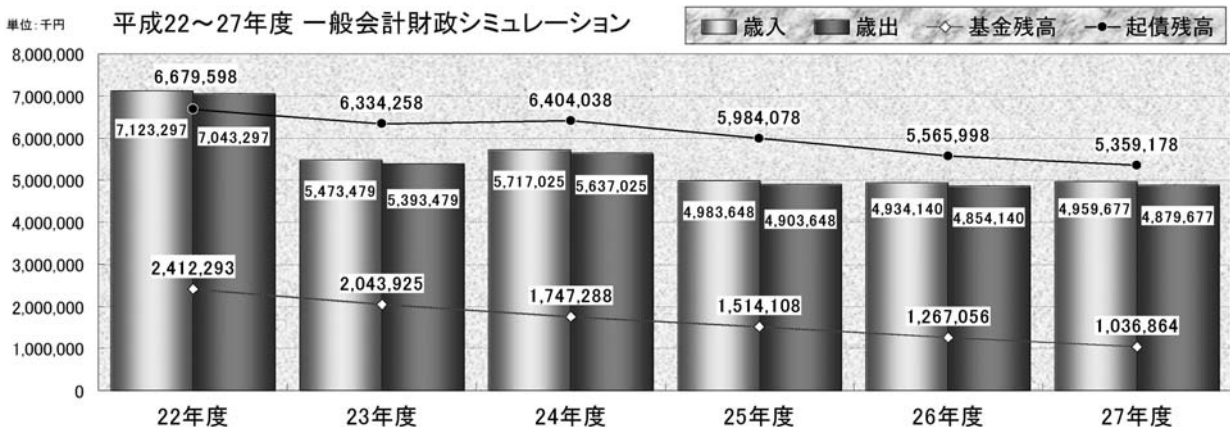
- 生活館・集会施設整備
- コミュニティ活動支援
- 財務会計システムの導入

❖ごみ処理施設・消防の整備

- 焼却・破砕処理施設整備
- 消防車整備
- 救助資材整備
- 待機宿舎の改修
- 消防無線デジタル化

❖国保病院・水道施設の整備

- 人工透析診療機器等導入
- 本町外簡易水道施設整備



※ 基金残高～特定目的のために資金を積み立てるなどし、運用するために設ける財産(貯金に相当するもの)

※ 起債残高～事業を行うときに国や銀行から借りた資金の残高(借金に相当するもの)

平成21年度 一般会計

決算報告

平成21年度の一般会計の決算状況をお知らせします。

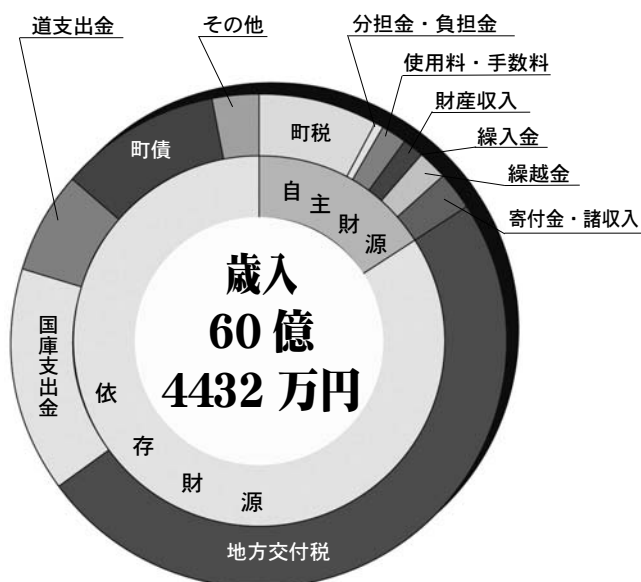
歳入総額は60億4432万円、歳出総額は58億9912万円となりました。

町の貯金となる基金は、前年度末より9200万円ほど増え22億2036万円、また、町の借金となる町債の残高は3億6814万円少ない68億4385万円となっています。さらに、町財政の健全化の目安となる「実質公債費比率」等も、前年度より大幅に改善した数値を示しています。

将来的に、地方財政を取り巻く環境はさらに厳しさを増すことが予想されることから、今後とも総合計画を基調とし、効率的な財政運営のもと、地域経済の振興と町民の生活支援を優先課題ととらえ、安心・安全な生活ができる町づくりに向け、努力してまいります。

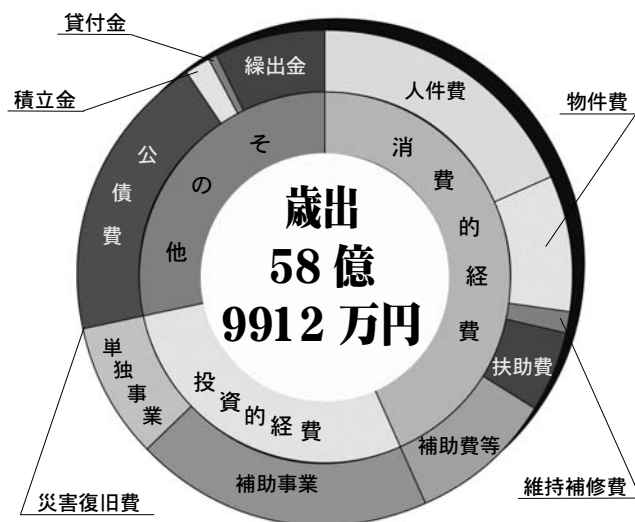
財源別決算額

区分	決算額	構成比	前年比
町税	4億7843万円	7.9%	△5.2%
分担金・負担金	3681万円	0.6%	9.2%
使用料・手数料	1億570万円	1.7%	△4.7%
財産収入	7306万円	1.2%	11.2%
寄付金	685万円	0.1%	107.8%
繰入金	140万円	0.1%	△99.7%
繰越金	1億806万円	1.8%	21.1%
諸収入	1億6255万円	2.7%	△1.1%
小計	9億7286万円	16.1%	△33.4%
地方交付税	29億5681万円	48.9%	0.4%
国庫支出金	8億9569万円	14.8%	94.4%
道支出金	4億1223万円	6.8%	59.6%
町債	6億2970万円	10.4%	56.4%
その他	1億7703万円	3.0%	△5.7%
小計	50億7146万円	83.9%	19.2%
歳入合計	60億4432万円	100.0%	5.7%



性質別決算額

区分	決算額	構成比	前年比
人件費	10億8635万円	18.4%	△0.6%
物件費	5億2883万円	9.0%	△2.5%
維持補修費	7914万円	1.3%	12.3%
扶助費	3億684万円	5.2%	0.4%
補助費等	5億6062万円	9.5%	△10.5%
小計	25億6178万円	43.4%	△2.9%
補助事業	11億5754万円	19.6%	136.9%
単独事業	5億1371万円	8.7%	30.7%
災害復旧費	31万円	0.0%	△99.6%
小計	16億7156万円	28.3%	73.6%
公債費	11億2404万円	19.1%	△5.9%
積立金	9341万円	1.6%	384.8%
貸付金	2284万円	0.4%	△86.5%
繰出金	4億2549万円	7.2%	△31.9%
小計	16億6578万円	28.3%	△17.0%
合計	58億9912万円	100.0%	5.2%



■平成21年度決算の財政指標■

自治体の財政破たんを未然に防ぐために、国では平成19年に財政健全化法を定めました。

この法律は新たな財政指標により、財政悪化をチェックするとともに、特別会計も合わせた連結決算で、自治体の財政状況を明らかにしようとするものです。

平成20年度の決算からは、次に示す指標のいずれかが基準を上回った場合に、「財政健全化団体」及び「財政再生団体」に指定されます。会社为例えると、「財政健全化団体」は、倒産にはならないが経営状態があまりよくない会社で、「財政再生団体」は、倒産にあたるものです。自治体には、財政の健全化に向けた計画の策定など、さまざまな制約が課せられることとなります。

平取町の21年度決算では、いずれの指標も早期健全化基準を下回っていますが、今後、行財政改革の推進を図り、健全な財政運営に努めてまいります。

■財政指標 (1)

	平取町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	17.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	0.2%	350.0%	なし

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がないため、比率は発生しません

実質赤字比率

福祉や教育、消防や道路建設など行政運営の基本的な経費をまとめた一般会計における赤字の程度を指標化したもの

連結実質赤字比率

町の全ての会計の赤字や黒字を合算したうえで、町全体の赤字の程度を指標化したもの

実質公債費比率

一般会計の借入金返済額のほか、特別会計の借入金に対する負担額や借入金に準じた経費の負担額を合算して指標化したもの

将来負担比率

実質公債費比率の算定に基づく経費のほか、職員の退職手当、設立した法人や一部事務組合などの負債のうち、一般会計が将来負担する可能性のある額の大きさを指標化したもの

■財政指標 (2)

		平取町	財政再生基準
資金不足比率	国保病院特別会計	14.3%	20.0%

資金不足比率

国保病院特別会計の赤字額を、料金収入などの事業規模と比較して指標化したもの

町の取り組み

～地域活性化交付金“総額 8525 万円”交付～

円高・デフレに対する緊急総合経済対策として、「きめ細かな交付金」と「住民生活に光をそそぐ交付金」が国から地方へ交付されることになりました。

交付金事業としてふさわしいものについて取捨選択を行い、町の一般財源と合わせて次のとおり実施しますので、概要についてお知らせします。

1 月臨時議会での交付金事業補正額	2077 万円 (うち交付金 1635 万円)
3 月定例議会での交付金事業補正額(予定)	9683 万円 (うち交付金 6890 万円)

きめ細かな交付金

《地域の活性化に必要な事業を行います》

1. 民芸品・農業共同作業所改修 350 万円
二風谷、荷菜共同作業所の屋根葺替を行います。
2. すずらん群生地整備 500 万円
群生地付近の町道延長 200 m の簡易舗装と群生地の日照を増加させるため、支障木伐採を行います。
3. 親水公園施設補修 120 万円
人工池の配水管と水飲み場の改修を行います。
4. 平取カーリング場照明器具改修 80 万円
場内の照明器具 (16 基) を LED に交換します。
5. 埋蔵文化財出土資料収蔵施設整備 782 万円
歴史館周辺に収蔵施設を新たに設置します。
6. アイヌ文化博物館トイレ改修 93 万円
和式トイレ (3 基) を洋式とします。
7. 振内鉄道記念館公園線照明等整備 144 万円
安全確保のため照明灯 2 基を設置します。



8. 川向牧野線法面改良 587 万円
法面補強工事を延長 10 m 行います。
9. 町道維持補修 500 万円
主要幹線道路の路肩芝を削る工事を行います。
10. 公営住宅等 L P ガス設備修理 125 万円
耐用年数が経過しているガス器具の屋外低・高圧ホース、調整器を交換します。
11. 貫気別小学校整備 3050 万円
校舎及び屋体の外壁と屋根の改修を行います。
12. 中央公民館施設整備 2440 万円
給配水管と渡り廊下等の改修とバリアフリー対策として階段昇降機を取り付けします。
13. 国保病院暖房給湯ボイラー改修等 1680 万円
暖房給湯ボイラーの改修と病室等のデジタルテレビ 70 台を購入します。

住民生活に光をそそぐ交付金

《住民生活にとって大事な事業を行います》

1. 子ども 110 番の家「のぼり旗」設置 50 万円
110 番の家指定個所設置用のぼり作成費として自治振興会へ補助します。
2. 交通安全教室用移動式信号機購入 86 万円
移動式信号機 (LED) を購入します。
3. 図書館システム等整備 1174 万円
視聴覚機材及び図書等を購入します。

町のひろば

快挙、2年連続受賞

紫雲古津 賀集 昭知 さん (12/4)

ホクレン主催の平成22年度北海道枝肉共励会黒毛和牛の部が開催され、賀集さん出品の肥育牛「由里牽」が優秀賞1席となりました。わずかな差で惜しくも2位という結果でありましたが、昨年の最優秀賞に続き2年連続での好成績で、これは今までにない栄誉なことであり、びらとり和牛の肥育技術の高さと知名度を多いに高めることとなりました。



22年度「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」表彰伝



森林づくりで北海道知事賞

岩知志 庄司 章 さん (12/9)

この度、「ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」のカラマツの部において、庄司さんが「最優秀賞」(北海道知事賞)を受賞されました。庄司さんは先代から受け継いだ山林を、これまで、休日を利用してながら夫婦で造林を行ってきたとのこと。これからも大切な、平取の自然を守っていただけますようお願いします。

佐々木 茄鈴 さんに奨励賞

全国中学校人権作文コンテスト (12/21)

人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身につけることを目的に第30回全国中学校人権作文コンテストが開催され、平取中学校3年生の佐々木さんが書いた「私たちの未来の為に」が、日高地区大会で奨励賞に選ばれました。

佐々木さんは「作文は授業の一環で書き、賞が取れるとは思っていませんでした。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べていました。



無形の文化遺産を後世に…

第23回アイヌ民族文化祭 (1/22)

北海道アイヌ協会主催のアイヌ民族文化祭が中央公民館で開催され、浦河、様似、新冠、静内の民族文化保存会が古式舞踊を舞い、平取支部は子どもたちを交えてのアイヌ語劇を披露しました。

途中、約300名の来場者全員にプレゼントされた伝統楽器「ムックリ」の演奏指導があり、音を出せた人も出せなかった人も大騒ぎ。鑑賞に体験に、楽しい文化祭となりました。

平成23年 平取町成人式

新成人のみなさん

おめでとうございます

1月9日、中央公民館で成人式が開催されました。

新しい門出となるこの日、出席された新成人45名は、来賓の方々から祝福を受け、社会人としての自覚と責任を改めて感じていたようです。皆さんの一層のご活躍を期待いたします。



お礼のこたば 佐々 健太郎さん



記念品贈呈 萱野 知寿子さん



成人宣言 粒来 拳斗さん 平田 早紀さん





教育委員会からのお知らせ

学校給食メニューに子どもたちが挑戦

～食育キッチン「親子料理教室」～

冬休み中の紫雲古津小学校、荷負小学校、振内小学校の3校で、「食育キッチン～親子料理教室～」が開催されました。楽しく調理することで、親子のコミュニケーションを深め、子どもたち一人一人が充実感、達成感を持つことを目的としていますので、調理の主役はあくまでも子ども、保護者や先生は脇役です。

子どもたちにとって身近な学校給食のメニューの中から作りたい料理を募り、紫雲古津小学校と荷負小学校は「ドライカレー」、振内小学校は「ハンバーグ」を中心としたメニューに挑戦。慎重に包丁を使っている子どもを見守りつつ、手を出したくて大人はドキドキ。無事料理が完成し、みんなでおいしくいただきました。

「大変だったけど楽しかった」「学校の給食を自分たちで作ることができてよかった。これから自分で食べ物を作るときに参考にしたい」「お母さんやおばあちゃんを少しでも楽しませたいから、これから料理のお手伝いをしたい」とすばらしい感想もいただきました。

長期休業中の学校を活用しての料理教室は、初の試みでしたが、来年度以降も継続していきたいと考えております。



頼もしい支援者、機動的な児童会 ～貫気別小学校～

本校は、開校107年を経ており、地域からの温かな支えの下、運営を行っている学校です。その例をいくつかご紹介いたしますと、和太鼓の体験やスキー学習では、地域の方々から熱のこもったご指導をいただいております。そこには、メキメキと上達を遂げ、喜びと自信の表情を輝かせていく子ども達の姿があります。

校地内には、100周年を記念して建てられたビニールハウスが1棟あり、温度の調整管理が可能な本格的なものです。毎年、地域の方々から畑の耕作や堆肥の提供のご支援を受け、農園活動を行っています。いろいろな作物を育てる楽しみ、育てたものへの愛着、作物の世話を通して気づく学び、協力の仕方、収穫の喜びなど、子どもたちはこの活動を通して体験しています。

給食には、地元で生産・加工された食材を寄贈いただくなどして、地産の恵みを得ております。食材の寄贈量、数とも町内では屈指とのこと。ありがたいことです。

また、少人数（児童数：18名）ですが、全校児童による交流の催しが、日常的にもたれています。3年生以上の子どもたちによる児童会の各部が中心となって様々な催しを、中休み（20分間）に開催しており、これまでに、「○×クイズ」「イントロクイズ」「読み聞かせ」「ドッジボール」「キックベース」「オニ遊び」「リレーゲーム」「人文字ゲーム」…などなど。新たな趣向を凝らしたゲームの開拓に余念がありません。

校外における活動としては、昨年、生活館を拠点に「放課後子ども教室」が開設され、下校後も、安全指導員の方々が見守る中、子ども達は、楽しく、充実した日々を送っています。



「紙コップリレー」

縦割り班、3班で競うコップを優しく持ち、急ぎながらもこぼさず、あわてず。

学校と家庭・地域が協力・分担して確かな学力の育成を

～全国学力・学習状況調査、次年度も全校で実施～

平成19年度より、「全国的な義務教育の機会均等とその水準の向上のため、…教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として」行われている全国学力・学習状況調査は、今年度から実施方法が変わりましたが、平取町では全校の小学6年生と中学3年生を対象に平成22年4月20日に実施しました。北海道教育委員会が1月にまとめた調査結果報告を基にした学力調査の正答率の概要（全国平均比も含む）は表のとおりです。

なお、4月19日予定の平成23年度調査については、当町抽出校は小・中各1校ですが、希望利用方式を活用して全校で実施します。

平成22年度全国学力・学習状況調査結果 — 平均正答率との比較 —

小A・中A：主として知識に関する問題

小B・中B：主として活用に関する問題（○＝国語・△＝算数、数学）

区 分	全国平均正答率から見た 平取町の平均正答率との比較				全道平均正答率から見た日高 管内の平均正答率との比較				全道平均正答率から見た 平取町の平均正答率との比較			
	小A	小B	中A	中B	小A	小B	中A	中B	小A	小B	中A	中B
相当高い 7ポイント以上									△			
高 い 5ポイント以上7ポイント未満										○		
やや高い 3ポイント以上5ポイント未満									○			
ほぼ同様（上位） 1ポイント以上3ポイント未満	△											
同様（平均正答率） ＋1ポイント未満	○	○								△		
ほぼ同様（下位） -3ポイントより大きく-1ポイント以下							○					
やや低い -5ポイントより大きく-3ポイント以下					△	○		○ △				
低 い -7ポイントより大きく-5ポイント以下		△	○		○	△	△				○	
相当低い -7ポイント以下			△	○ △							△	○ △

道内的に、各学年段階で身につけるべき基礎的・基本的な学習内容をしっかりと習得させることの必要が論議される中、当町では、「授業づくり」「習慣づくり」「環境づくり」の観点による学校改善支援プランにより、また、各学校も改善プランの作成、見直しをしながら改善を図っています。

今、学校に期待される「確かな学力」の育成は、習得した知識・技能を実際場面で使える実力が試される段階での能力の育成であり、その場合、学習した基礎的・基本的内容は思考や判断の質を高める大切な手段・道具となります。授業は単に知識技能の理解で閉じてしまわずに、その活用についてもバランスよく組み合わせた広がりを持たせたものとして進められます。

こうした状況を踏まえながら、教育委員会としては一人ひとり子どもたちのニーズにも対応できる支援の施策を講じてまいります。

また、学力の形成はその土台となる人格の形成に大きく左右されます。道徳教育をはじめ総合的な学習、学校行事等の部分について学校と家庭、地域の相互理解・協力・分担なしに学力の向上への道は歩めません。学習習慣の確立等の課題の解決に向けて、地域全体の理解のもとに取り組みを進めていくことが大切です。



教育委員会からのお知らせ

「うまくてきたかな？」～そば打ち体験～

中央公民館 12月11日(土)

小学生を対象に児童館と共催でそば打ち体験を行いました。毎年恒例となったこの講座ですが、1、2年生がそば粉クレープを、3年生以上がそば打ちに挑戦しました。

大きなこねばちに平取産そば粉をふるい入れ“水まわし”をすると、新そばの良い香りがふわっと立ちあがりました。ぽろぽろの生地が1つにまとまってきたら“こね”となりますが、力を込めてもなかなか思いどおりにならない生地と格闘しながら均一になるよう一生懸命こねていました。長いめん棒を使い薄くなるように両手をいっぱい広げながら“のし”を行い、やっと“切り”となりましたが、ほそ〜く切ることにこだわりなかなか進まない組や、きしめんさながらの組など様々。

どの工程も子どもだけでは十分ではないため、大人が途中で代わったり手助けをしたりしながらのそば打ち体験となりましたが、終わった後、子ども達の口から出た言葉は「疲れた〜」。技術と体力が必要だと実感していました。

待望の試食では、太さはばらばらになってしまったけれど、熱々の汁に満たされたお手製そばを「おいしい！」と笑顔で口に運んでいました。



オリジナル作品ができました～子ども公民館講座～

中央公民館 12月28日(火)～2月3日(木)

公民館では、地域の文化団体などの協力を得ながら、小学3年生から6年生を対象に冬休み期間や放課後を利用して「子ども公民館講座」を開催しています。今年は、ペーパークラフト、トールペイント、陶芸、手芸、工作(折り紙ヒコーキ)、実験(光るスライム)などの講座を行いました。

ペーパークラフト(かご作り)講座では、好きな色の紙材料を選び、編む作業に時間がかかりましたが、講師の手助けを得て、それぞれリボン等をつけ、自作のかごを完成させました。

トールペイント(キャンディトレイ作り)講座では、木製トレイにどんな絵や模様を描くか、どんな色をつけるか、悩み、イメージを膨らませながら作業をしました。講師から筆の使い方、色の載せ方等のアドバイスをいただき、花や葉等の模様を上手に描いていました。



ペーパークラフト



トールペイント

社会教育事業「初心者スキー教室」

日高国際スキー場 1月8日(土)～9日(日)



この教室は町内の小学生を対象とし、気軽にスキーを楽しめる機会を提供するため、毎年開催されています。今年は42名の子どもたちが参加し、スキー、スノーボードに挑戦しました。

雪不足で頂上までのリフトは運行していませんでしたが、子どもたち全員、2日間にわたるレッスンでみごとに腕前を上げることができました。

日高西部広域社会教育事業「遊 ing スキー教室」

日高国際スキー場・国立日高青少年自然の家 1月12日(水)～13日(木)

スキーの基礎技術の習得と小学生の交流を目的に、「遊 ing スキー教室」が開催され、平取町から16名、日高町、新冠町から77名が参加し、1泊2日を仲間たちと共に過ごしました。

1日目は「雪像づくり」や「交流レクリエーション」を楽しみ、2日目は「スキー、スノーボードレッスン」で更なる上達を目指しました。

レッスンの成果も上がり、友だちの輪も広がった、思い出の日となりました。



各スポーツ少年団の大会結果

第18回米坂杯

苫小牧地区小学生バドミントン大会

期日 平成22年11月28日(日)

場所 苫小牧駒澤大学体育館

成績

男子【5年生以下 シングルス】

優勝: 鶴野 立堂(平取本町バドミントン少年団)

女子【6年生以下 シングルス】

第3位: 水谷 朱里(平取本町バドミントン少年団)

第26回苫小牧地区中学生バドミントン新人大会

兼北海道中学生新人バドミントン大会苫小牧地区予選会

期日 平成22年12月18日(土)

場所 苫小牧市総合体育館

成績

中学生男子【シングルス】

優勝: 二谷 優吾(貫気別バドミントン少年団)

中学生女子【シングルス】

優勝: 大高 由夏(貫気別バドミントン少年団)

準優勝: 渡邊 沙耶(平取本町バドミントン少年団)

第3位: 小野寺菜月(平取本町バドミントン少年団)

すこやかだより

－保健福祉課－



◆「介護予防」を
身近なものに

「介護予防」と聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか？

「自分にはまだまだ必要のないこと」と思ったり、必要性はわかっていても、「何をしたらよいのかわからない」ということはありませんか？

地域包括支援センター「ほほえみ」では、いくつになっても住み慣れたこの平取で、自分らしく生活を続けられるよう、「介護予防」に向け少しずつ活動を進めています。

まずは、まだまだ詳しく知られていない「介護予防」について、高齢者の皆さんの所へ出向き、知ってもらおうことから始めました。昨年5月から出前講座形式で教室活動を行い、各老人クラブや高齢者大学など約20団体、述べ200人を超える方々に実施することができました。

出前講座は60～120分の内容で、スタッフは運動指導士・歯科衛生士・保健師の3名です。

前半は運動指導士と、転ばない体づくりに向けた椅子に座つての体操を行い、後半は歯科衛生士が口の健康のため、義歯の手入れや嚥下体操などを指導します。体操は日頃の生活の中でも簡単に取り入れられるものが多く、家事の合間にも続けられるなどの声が聞かれました。また、咀嚼力（ものを噛む力）を判定できるガムを用いた演習では、義歯の不都合さを確認したり、自分の噛む癖を知る機会にもなっています。初めは「何をするのか？」と緊張されていた参加者の方々も、顔見知りのいる団体で行ったこともあり、すぐに



緊張も解け、和やかな雰囲気が進めることができました。

「介護予防」は介護が必要になってからではなく、元気なうちから始めることが大切です。まだまだスタートしたばかりの活動ですが、皆さんに「介護予防」を、少しでも身近に感じていただけるよう、努めていきます。



月「二次予防事業」の愛称募集♪

出前講座だけでなく、介護が必要な状態に近づいている高齢者の方々を対象とした予防活動も行っています。

現在、その活動（二次予防事業）に平取町らしく、高齢者の方々を応援し元気にできる名前を募集しています。

応募方法はふれあいセンターびらとり、役場両支所に備えている応募用紙に必要事項を記入し、各窓口または応募箱へ。電話やFAXでの応募も可能です。締切は2月28日（月）なお、不明な点は地域包括支援センター「ほほえみ」までお問い合わせください。

高齢者の総合相談窓口です。
介護のこと、高齢者虐待、消費者被害、
その他生活の中で何か困ったときは、
まずご相談ください。

平取町地域包括支援センター
「ほほえみ」(24時間対応)
ふれあいセンターびらとり内
電話(直通) 2-3700
FAX 4-6870
～お気軽にご相談ください～

図書館へいこう

☆開館時間

火～金曜日 10:00～18:00

土・日曜日 10:00～17:00

☆休館日

月曜日休み、月曜日が祝日の場合は月曜日と翌日が休みとなります

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※□は休館日です。

It's New! 新しい本が入りました

ここに掲載されたもの以外にも、たくさんの本がありますので、お気軽に図書館（☎4-6666）までお問合せください。

あなたの一冊のお手伝いをします。

【小説・エッセイ】

『天使の報酬』／真保裕一

『戦国を終わらせた女たち』／童門冬二

※今年の大河ドラマの主人公、「江」の物語。

『風をつかまえた少年』／カムクワンバ

※貧しく学校に通えなかったアフリカの少年が独学の末、廃品で作った風車で発電を成功させた、感動のノンフィクション。

『マボロシの鳥』／太田光

『KAGEROU』／齋藤智裕

『はばたけ、佑樹』／斎藤しづ子

『老いの才覚』／曾野綾子

『F党宣言!』／えのきどいちろう

『父親が息子に伝える 17 の大切なこと』

／森浩美



【家庭・生活・趣味】

『体脂肪計タニタの社員食堂』／タニタ

※健康的にやせられると話題の料理本。続刊も出たので、併せてお試しを。

『体の芯の冷えをとる!』

『ウルトラしょうが美味レシピ』

／寺井俊高 ※寒さ対策に。



【社会・経済・政治】

『国際問題がわかる!』

『世界地図の読み方』／池上彰

『マネジメント』／ドラッカー

※話題の古典。大ベストセラー「もしドラ」の原点を本書で。



図書ワゴン（移動図書館車）

3月の運行日程

3日（木）【貫気別地区】

11:00～11:30 荷負 遠藤和江さん宅前

11:45～12:30 貫気別生活館

12:45～13:15 芽生生活改善センター

13:30～14:00 旭生活館

4日（金）【振内地区】

11:30～12:00 振内町民センター

12:00～12:30 山の駅ほろしり館

12:45～13:15 岩知志ふれあい館

13:45～14:15 豊糠生活改善センター

※利用者カードなしでも、その場で貸出します。

※本の返却や、不要になった本のご寄贈も受け付けています。ぜひお立ち寄りください。

新しい本を知る方法

図書館には、毎週新しい本が入っていて、広報で紹介できるものは、ほんの一部です。

図書館に入った本をくわしく知るには、お電話などで直接問い合わせただけでなく、次のような方法があります。

①検索機で見る。

図書館と貫気別生活館・振内青少年会館には、検索機が設置されています。画面の「新着資料」をタッチすると、過去1カ月に入った本が表示されます。

②「新しく入った本」で見る。

図書館では原則として毎週「新しく入った本」というチラシを作成しています。検索機の近くにあるファイルに、表紙写真付きで紹介しています。

また、図書館入口付近の掲示板に拡大したものを掲示しています。

③ホームページで見る。

町のホームページを開き、「図書館」をクリックして「新着図書一覧」の画面を開いて確認してください。



■平取消防出初式（1月5日 振内町）

短歌教室詠草

小豆煮て冬至南瓜を食^おぶる朝

昔ながらの未来がつづく

市橋恵美子

一年をふり返り見ればいくたびか

試練の波をのりこえてと想う

中沢三二子

霜白く師走の屋根に雪もなく

白き三か月眉の如くに

相田のぶ子

北国は恵まりましたお天気に

皆既月食ミステリアスだ

高橋 洋子

町の人口	人口	5,630	(▲12)
	男	2,715	(▲3)
	女	2,915	(▲9)
	世帯数	2,588	()
	外国人登録数	50	()

()内は前月比 1月末現在

発行…平取町役場 編集…総務課広報広聴係
この広報誌は資源保護のため再生紙を使用しています。